

校長室だより

No. 4

平成30年4月27日(金)

強く やさしく

六ツ美中部小学校校長

かとうよしかず
加藤嘉一

今年もありがとうございます 第1回読み聞かせ「るるの会」のみなさん

本校は、本当にありがたいボランティアの方々があります。読み聞かせボランティア「るるの会」のみなさんです。毎年学校診断アンケートで課題となる読書習慣。ですが、るるの会の方々が本の楽しさを十数年も伝え続けてくださっているおかげで、子供たちは読み聞かせを毎回楽しみにしています。この活動に参加される方が増えるとよいと思います。感謝。



【4月25日(水)1の2読み聞かせ】
1学期5回、2・3学期各6回 計17回予定

教育目標と本年度の重点目標について

本年度も本校の教育を進めるにあたり、「(1)本校の教育目標」に迫るため、4月始めに「(2)経営方針」を立て、「(3)本年度の重点努力目標」を考えました。これが、本年度の教育活動の目標にあたるものです。「(1)本校の教育目標」は変わりません。しかし、経営方針以下は毎年見直しを図っています。

学習指導要領の改訂や子供を取り巻く環境の変化、これまでの子供のとらえや教育研究の積み重ねなどを視点に見直しています。前号で述べた「ペア活動」も、「(3)本年度の重点努力目標」「ウ ちゅうぶがだいすきな子を育てる」異年齢交流を、昨年より深化させたいと考えたものの一つです。

下線(波線)部分が、昨年度のものを改訂した部分です。この重点努力目標をもとにした具体的な活動を、本校の先生方に協力をお願いし、考えてもらいました。今後、少しずつ紹介していきます。

教育目標

(1) 本校の教育目標

校訓「誠」の精神を支柱に、「いつもにこにこ元気な子」をスローガンに掲げて、次のようなめざすべき子供像をもって本校の教育目標とする。

- ・ べんきょうがだいすきな子 (確かな学力の育成)
- ・ うんどうがだいすきな子 (たくましい体力の育成)
- ・ ちゅうぶがだいすきな子 (心豊かな子の育成)

(2) 経営方針

- ア 汎用的な知識及び技能と、課題を解決するための思考力、判断力、表現力等を育むとともに、多様な人との協働を促す教育の充実を図る。
- イ 発達段階を考慮し、運動する機会や運動量を確保するとともに、特色ある運動を取り入れながら、適切な体育・健康に関する活動の推進を図る。
- ウ 日本や地域の伝統文化、季節感を大事にし、本物に触れる、体験する、多様な表現・鑑賞活動を充実させ、豊かな心や創造性、郷土を愛する心を育てる。
- エ ESDの視点を基盤に、教材、教科、人、地域との「つながり」や「かかわり」を大切にした特色ある教育課程の編成を図る。
- オ 保護者や地域の人々に愛され、信頼される学校、地域とともに歩む学校づくりを教職員一体となって取り組む。
- カ 専門職としての自覚をもち、たゆまぬ研修と研究に努め、授業力・指導力の向上を図るとともに、知識・技能・教養を高める。

(3) 本年度の重点努力目標

- ア べんきょうがだいすきな子を育てる
 - ・ 正しい姿勢や学習用具の正しい使い方を身につけさせるとともに、汎用的な知識及び技能の獲得を図る。
 - ・ 「振り返り」を研究の視点とし、「問題を見いだす」「見通し」「振り返り」を大切にした問題解決的な単元・授業構想や環境づくりにより、自己の成長を自覚し新たな自分を創る力を育成する。
 - ・ 人の話を共感的に受け止め、理解し、考え、表現する対話的な学びを通して、ものの見方や考え方、感じ方を広げ深める姿勢を育成する。
- イ うんどうがだいすきな子を育てる
 - ・ 種目・教材の開発、準備運動の方法や指導方法の工夫に努め、運動に意欲的に取り組む態度とバランスのよい体力を育成する。
 - ・ 集会や長い休憩時間に、運動に親しむことができる遊びや道具の紹介、教育活動全般での運動量の確保、環境づくりに努める。
 - ・ 竹馬、一輪車、縄跳びなどの運動を取り入れ、成果を自覚する場をもつ。
- ウ ちゅうぶがだいすきな子を育てる
 - ・ 学習内容と育むべき資質・能力を再編成し、岡崎市と中部学区の歴史・伝統・文化を素材とした特色あるカリキュラムの研究・開発を図る。
 - ・ 地域の人から学ぶ活動や、地域の人とともに行う活動、地域の自然を見つめたり、自然の中で体験したりする活動を大切にする。
 - ・ 学級活動、委員会活動、ペア交流、兄弟学級・保育園・中学校等との異年齢交流において、子供の主体的、意欲的な活動を展開する。